

今年の「家計の予算」を立てましょう!

みなさんは今年の家計予算を立てましたか？ 予算には、毎月とか毎年必要な予算以外に、今年に限って必要な家族の予算、例えばマイカー購入や、子供の進学、リフォームなどの予算もあるでしょう。この予算の合計が収入を超えるなら、預金を取り崩すなどの対策が必要になります。

支出515万円、仕送り165万円などとなり、支出合計は903万円です。それに対して年収は423万円、へそくりが37万円。あとは借金で443万円、というのが日本の予算のイメージです。家計ではどうい考えられない状況です。

国の予算の仕組みも参考に

では国の予算を考えてみましょう。政府はまず、予算を決めるための大きな方針を決定します。昨年8月に政府が決めたことは「歳出(家計なら支出)は71兆円以下に!」「新たな借金は44兆円以下に!」でした。ただし、震災復興のための予算は別枠です。

そして9月に財務省主計局というところが、各省庁からこれだけ欲しいという予算案、例えば、文部科学省から教育費としていくら必要とか、国土交通省から来年は道路建設にいくら必要といった各省庁の要求(概算要求という)をまとめ、その予算の見積もりをもとに、政府が必要なものを判断して、昨年12月16日に政府案を決めています。この政府案が、1月からの国会(通常国会という)で審議されるわけです。

12月に決めた24年度の政府案ですが、歳出の合計が90.3兆円で、その内、国債費(国債の返済)が21.9兆円です。歳入(収入)は、税収入が42.3兆円、税以外の収入が3.7兆円で、残りが国債による借金44.3兆円という内容です。

国の予算を家計に置き換えると

この国の予算を簡単に家計へ置き換えてみると、ローンの返済219万円、医療費や教育費などの

消費税が議論されるけど

でもこのような予算でいいわけはありません。家計を健全にするなら、収入を増やすか支出を減らすということになるわけです。国の収入を増やす方法として、消費税率アップの議論がこれから行われることになるわけですが、本来は家計も国も、お財布の中身でやりくりするのが大原則と思うのですが。

また、国の予算には、年度の途中で必要になった時に組む「補正予算」があります。平成23年度の当初予算は、92兆円でしたが、昨年の震災などで4回補正予算を組み、当初予算と合わせ107.5兆円と過去最大になりました。1月から始まる国会では、ムダ使いがないかしっかり審議してもらいたいですね。

決まるまで

- 8月 …… 政府が方針を決める
- 9月 …… 各省庁が予算を要求
- 12月 …… 政府が案を決める
- 1月 …… 国会で審議される

暮らしのマネープラン
相談センター・所長
サーティファイド
ファイナンシャルプランナー
高橋 昌子



SBI証券のEXPRESS口座 開設はこちらへ 最短、翌日から取引可能!

(口座開設料・管理料は無料です)



FPサポート研究所

<http://www.fpsl.co.jp/>

検索



あなたの暮らしと財産を守るパートナー
株式会社 FPサポート研究所

金沢市此花町3-2ライブ1ビル1F ☎076-232-2038

●株式会社エフピーサポート研究所(金融商品仲介業者)登録番号:北陸財務局長(金仲)第2号 ●当社は、所属金融商品取引業者の代理権は有しておりません。●当社は、金融商品仲介業に関して、お客様から直接、金銭や有価証券のお預かりをすることはありません。●所属金融商品取引業者 株式会社SBI証券 登録番号:関東財務局長(金商)第44号 ●加入協会:日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会